

令和3年度卒業証書授与式

式 辞

桜のつぼみも膨らみ、春の温かさに包まれた この良き日に、吉川市教育委員会 教育部長 中村詠子 様 のご臨席を賜り、保護者のみなさまと共に、本校第四十七回卒業証書授与式を挙行できますことは、誠に有り難く、心から感謝申し上げます。

七十八名の卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

今、呼名に応える返事の力強さに、みなさんの成長の証を感じました。

みなさんは、今年度、学校のリーダーとして、登校班、委員会活動、クラブ活動、低学年のお手伝い、かがやき班、学校行事などなど、様々な場面で活躍してくれました。そのすべての場面をここで言うには、かなりの時間が必要ですが、卒業証書を手渡ししながら、その場面がよみがえってきました。1つ紹介するならば、持久走大会で、順位に関係なく、全員が最後まで力を抜かずに走り切った姿は、本当に素晴らしく、みなさんの力が示せたことだったと思います。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度もいろいろな行事が中止に

なったり、規模を縮小したりしてしまいました。ただ、昨年度行けなかった宿泊行事である修学旅行へ行くことができたのは、大変うれしいことでした。みんなが楽しんで、協力し合った二日間でした。菓子屋横町の巨大ふ菓子を何本もお土産にした人は、食べきれたのでしょうか。

さて、先ほど呼名された七十八名以外にも北谷小学校に籍を置いている児童がいます。越谷特別支援学校の さんです。みなさんは彼とも長い間、交流を続けてきました。 さんも先週の十七日に無事小学部を卒業し、中学部への進学に、期待で胸を膨らませているということでした。 さんも含め、ここにいる全員が同じ中学校へ進学するわけではありませんが、それぞれの場所で、十分活躍してください。

みなさんは無限の可能性をもっています。その可能性を発揮するには、初めから自分にはできないとか、自分には合わないとか思うのではなく、何事にもチャレンジしてみることです。チャレンジしていくことこそ、自分の可能性を広げていくことになるのです。みなさんの世界はこれから、どんどん広がっていきます。ぜひ、可能性にチャレンジして、自分の持つよさを発揮してほしいと思います。皆さんに関わってきたすべての先生方は、いつまでも君たちを応援しています。

保護者の皆様、本日はお子様のご卒業、誠におめでとうございます。お子様の立派に成長された姿をご覧になって、感激もひとしおかと存じます。これまでの

本校教育へのご理解とご協力に心より感謝申し上げます。どうぞこれからもご
家族そろってご健勝であること、お子様のますますのご成長をご祈念申し上げ
ます。

よしの葉しげる 吉川の

まなびや楽し わが北谷

共に 風の子 声あげて

そだとう 明るく たくましく

光あふれる この土に

学校が変わっても、変わらないものがここに 있습니다。北谷小で学んだことを
心の支えにして、世の中に羽ばたいていきましょう。

結びに、卒業生の希望にあふれた前途を祝して式辞とさせていただきます。

令和四年三月二十四日

吉川市立北谷小学校校長

小林 智樹